

源氏前小学校校舎改築工事 計画概要



■主要計画概要
計 画 地：品川区中延六丁目2番18号
用 途：小学校
構 造：鉄筋コンクリート造
階 数：地上5階建て
敷地面積：6,354.66㎡
建築面積：2,995.16㎡
延床面積：8,993.23㎡
最高高さ：24.47m

■コンセプト

1. 地域コミュニティの拠点となる学校

- 多目的ホールや地域サロン、体育館など地域の活動拠点を、アプローチしやすい西門に面して配置することで、活発な交流活動を促します。
- グラウンドは敷地北側に整形に配置し、道路からの見通しがよく、学校内の活動が地域から感じられる計画とします。
- 敷地東側に菜園や自然共生池などを集約した庭園を整備し、地域ボランティアと児童の異世代交流を促します。

2. 豊かな学びの場としての学校

- 学校の中心に「ラーニングcommons」を学びの拠点として配置します。調べ学習や、異学年交流など、多様な学習活動が行える豊かな学びの場とします。
- 普通教室、多目的教室、WS（ワークスペース）などのまとまりを「学年commons」として整備します。主に学年のエリアとすることで、WSを利用した学習展開や、学年に合わせた掲示など、自由度の高い学習環境を確保します。
- 3・4階の中心には、特別教室を集約した「STEAMcommons」を形成します。教科を超えたものづくりや体験学習の場として児童の探求心と想像力を高める計画とします。

3. 防災拠点となる安全・安心な学校

- 地域の防災拠点として、災害時に速やかに利用できるよう予め諸室の役割を明確に分類し、学校運営の早期再開が可能な施設計画とします。
- 災害時に備え、一般避難所への照明電力と空調の供給が可能な防災設備を整備します。
- 校内の内装材には抗ウイルス・抗菌の機能性を有した建材を積極的に採用し、学校内の衛生環境を保ちます。

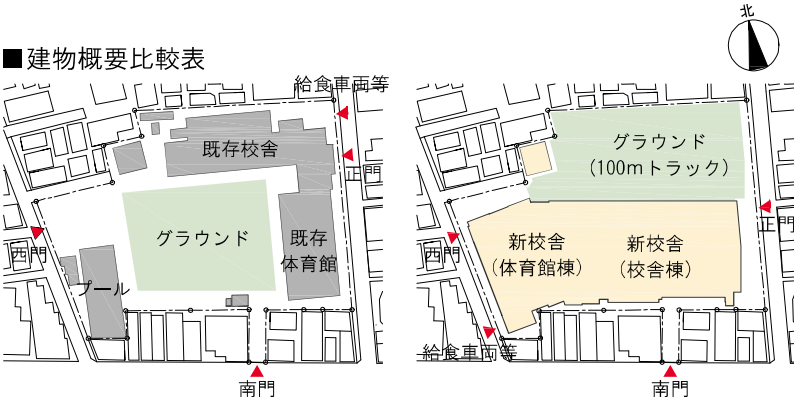
4. 周辺環境に配慮した学校

- 自然エネルギーの有効活用や、高断熱、高性能機器の選定、創エネルギー設備の導入などにより、環境負荷の軽減に努めるとともに、環境教育を充実させる施設とします。
- 階高の抑制や屋根形状の工夫により、近隣建物に対する日影の影響や、圧迫感を抑えた配置計画とします。
- 歩道状空地や、外周部の緑化整備により、児童や歩行者の安全性を確保し、潤いのある緑で周辺環境を向上させます。

※配置、レイアウト、規模は今後の詳細設計および所管行政庁の指示により変更が生じる可能性があります。

■建物概要比較表

	既存校舎	新校舎
延床面積	約4,330㎡	8,993.23㎡
建物高さ	約16m	24.47m
構造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造
階数	地上3階建て	地上5階建て
普通教室	13室 (+多目的室2室)	18室 (+多目的室6室)
特別支援教室	特別支援教室 1室	特別支援教室 1室
多目的ホール	—	多目的ホール 1室
体育館	約460㎡	637㎡
グラウンド	約2,100㎡	2,193㎡ (+庭園259㎡)



源氏前小学校校舎改築工事 計画概要

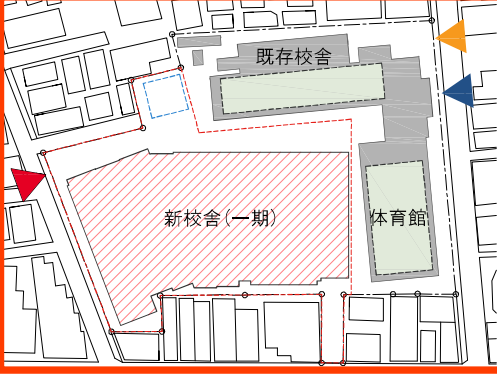
※配置、レイアウト、規模は今後の詳細設計および所管行政庁の指示により変更が生じる可能性があります。

■建替計画

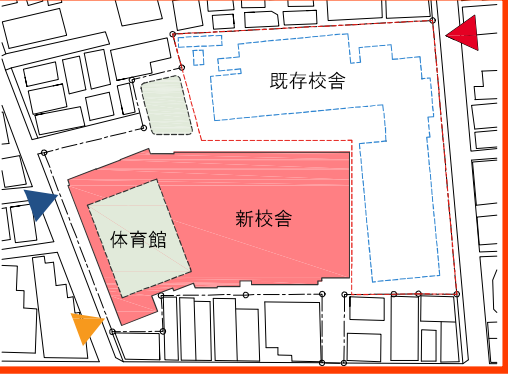
ステップ1 既存プール解体工事（完了済み）



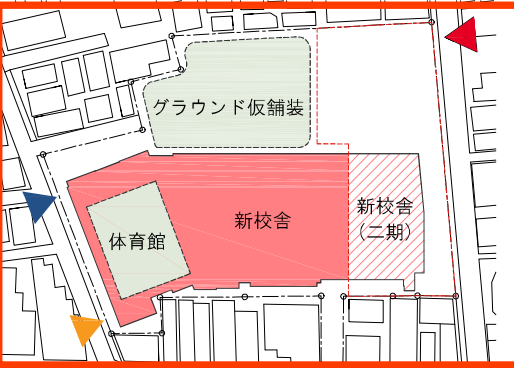
ステップ2 新校舎一期工事



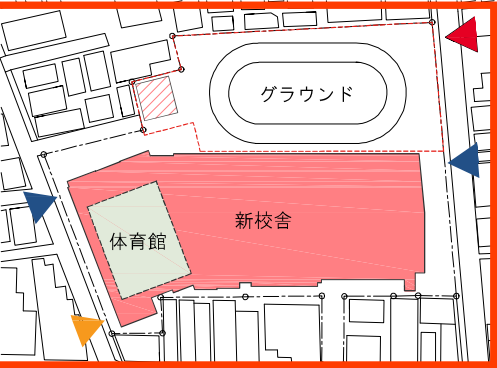
ステップ3 既存校舎解体工事



ステップ4 新校舎二期工事



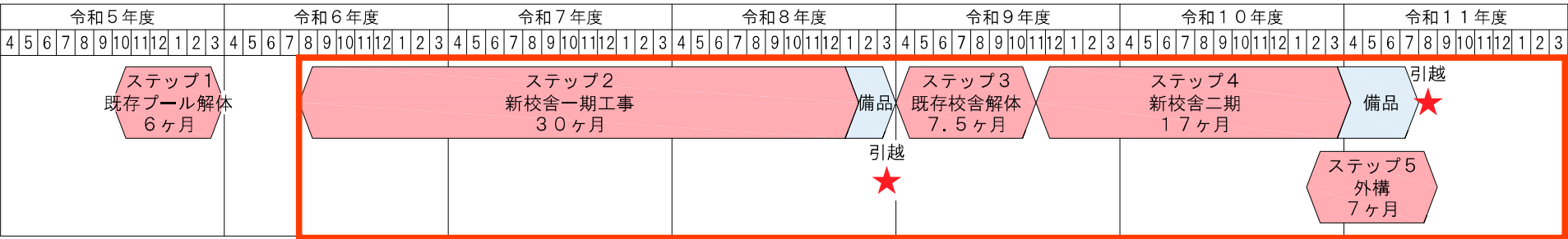
ステップ5 外構工事



ステップ2-5：工事未完了の範囲（遅延が発生）



■建替工程



※令和8年7月現在、中東情勢に伴う資材供給の不安定化の影響等により上記ステップ2-5の期間に遅延が生じる見込みであり、遅延期間については精査中